様式３(2020.06改)

作成日　令和3年10月1日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390300016
事業所名	愛の家グループホーム名古屋北久手

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	この1年は、コロナ禍で、利用者と地域の交流ができない状況が続いている。資源回収をはじめとする地域ボランティア活動も、現在は管理者のみが参加し、関係を継続している。コロナ禍以前は、利用者も一緒に活動し、地域の一員としての生活が体感できていた。コロナ終息後の活動再開が待たれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	この1年は、メンバー全員での会議開催を自粛し、ホームに来訪した家族と本人、管理者で運営推進会議を実施している。なるべく参加家族が固定されないように配慮し、ホームの運営報告を基に意見を聞き、話し合いを行っている。議事録はメンバーと行政に配布し、さらに意見を募っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍で、会議等、集合する機会はなくなっている。Zoom研修には、極力参加するように努めている。認知症サポーター養成講座の開催予定もあったが、時節を考慮し、中止となっている。現在は、運営に関する相談や報告を通じて連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族との連携は良好で、コロナ禍においても、運営推進会議出席やサービス担当者会議等、直接の意見の聞き取りを行っている。新型コロナウイルス感染症対策に関しての意見や質問、提案が多いことから、家族の不安に配慮して、ホームと利用者の情報提供をこまめに行なう等、適切に対応している。面会も、1日一組15分、来訪人数1人まで、場所は相談室に限り、継続している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

メンバーを限定し、少人数で会議を開催している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									